

「議会報告会」における要望事項に対する回答

1. 次の議会報告会はいつ行われる予定か。

「議会報告会」「意見交換会」の内容についても、十分精査検討し、年複数回実施するよう、更に努めてまいります。

2. 戦後 70 年近くになるが、国としてその日を記念するものがない。議員発案で、「不戦誓いの日」(仮称)を定め、全国に発信を。

国は、8月15日を「終戦記念日」としています。

町が実施している戦没者追悼式の参列などに、このような思いで議員の多くが出席をしているところです。

3. 社会福祉分野(介護相談員等)等においても功績のあった方々が多い。町長表彰規定の見直しを。

社会状況に見合った対応を町側に要望してまいります。

4. 町の事務事業を企業的感觉で推進するためには、即戦力となる民間企業経験者が必要。採用年齢を 40 歳位まで拡大を。

ご要望を、町側にお伝えいたします。

5. 町内企業がもっと活性化するために、町としてできることはないか。誘致された企業の周辺環境づくりが、観光の目玉になるような取り組みをお願いしたい。

ご要望を、町側にお伝えいたします。

6. 少子化が進んでいるが、子供が減ったのではなく、子育てをする若い世代が減っているのが現状。それがこれからの富士見町にどう影響を及ぼしていくのか、真剣に議会で議論してほしい。

少子化問題は、視野が広い問題であると考えています。

町にとっても、深刻な問題であり 住宅、医療、教育、婚活、未満児保育等、議会としても多面的に活動しておりますが、今後も更に充実するよう努力をしてまいります。

7. 平岡・烏帽子住宅団地建設予定地の上水道費用は、どこで負担したか。

住宅団地建設に伴う上水道の費用は、土地開発公社より支払われております。
(※町側から回答をいただきました。)

8. 富士見メガソーラー(株)の用地について、今までの経過を町民に知らせてほしい。

当該用地は、隣接する県営産業団地の企業誘致に伴い、そこに働く従業員を主とした住宅供給を目的に住宅用地125戸分の団地造成を行うため、富士見町土地開発公社にて取得しました。

県営産業団地への企業誘致は、景気の低迷により工場需要が極めて低調なことから進みませんでした。現在、長野県は産業団地の空いている区画に太陽光発電所を設置中であります。

このような状況下で、住宅需要も望めないため、住宅団地造成計画については廃止としました。

現在は、用地の有効利用を図るため、用地の約半分を20年間富士見メガソーラー(株)に貸し出し、その賃貸料を収入とする計画です。

(※町側から回答をいただきました。)

※土地開発公社は、その役割を終え平成25年9月定例議会で、解散することが議会議決されました。

9. 医療費特別給付金の支給誤り額 2,000 万円は大金、返還を求めることが筋だと思う。

平成25年9月定例議会において、同様に返還を求める議論もありました。議会における議論の経緯は「議会だより10月号(NO131)」に掲載されております。この問題は9月定例議会で審議し、町側が提案した、返還を求めない内容で議決されたものであります。今後更に事務事業に対する適正かつ慎重な対応を求めました。

多くの質問、要望等をいただきましたが、議会としての統一した見解をお示しできないものは、差し控えさせていただきます。

平成25年12月

富士見町議会
